



Cisco Vision Director での画面テンプレートの操作

ユーザー ロール: 管理者 (Administrator)/コンテンツ マネージャ (Content Manager)

このモジュールでは、定義済みテンプレートまたはカスタム テンプレートを使用して画面のリージョンを定義することによって、TV ディスプレイ上でコンテンツのレイアウトを設定する方法について説明します。

画面テンプレートについて

画面テンプレートは、ビデオ リージョンと非ビデオ リージョン、およびディスプレイのレイアウトを定義します。画面テンプレートは、異なるタイプのコンテンツを表示するために、さまざまなレイアウトを作成するために使用されます。画面テンプレートはゾーンまたはグループに割り当てられ、その中のすべての場所に適用されます。

図 1 (105 ページ) に、3 つの基本テンプレートを示します。「L ラップ (L-Wrap)」テンプレートでは、画面が 3 つのセクションに分割され、画面の左上にはビデオ、右側には広告、下部にはティッカーが表示されます。下部にはスコアやニュースフィードが表示される場合もあります。

図 1 3 つの基本テンプレート



Cisco Vision Director では、次のタイプの画面テンプレートを作成できます。

- カスタム テンプレート: 画面上のリージョンのサイズと配置を指定します。
- オーバーレイテンプレート: セカンダリビデオリージョンと重なるビデオリージョン、またはビデオリージョンと重なる非ビデオリージョンをテンプレートで指定します。

デフォルトの画面テンプレートの大きさ




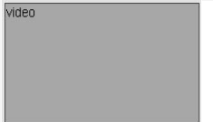
デフォルトの画面テンプレートの大きさは固定されており、変更することはできません。

代わりに、カスタム画面テンプレート(画面テンプレートのリージョンに異なるサイズを指定できます)とオーバーレイ画面テンプレート(ビデオリージョンまたは混合メディアリージョンに非ビデオリージョンまたはビデオリージョンを重ねることができます)を作成することもできます。

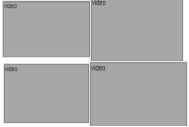
表 1 (106 ページ) に、Cisco Vision Director 4.0 以降に含まれるデフォルトの画面テンプレートを定義します。フル ISO イメージをインストールすると、以前利用できたテンプレートは削除されます。

画面テンプレートについて

表 1 デフォルトの画面テンプレート

テンプレート名	コンテンツ タイプ	寸法	リージョン レイアウト
全画面ビデオ (Full Screen Video)	全画面ビデオの表示	ビデオ: 1920 X 1080	
全画面非ビデオ	全画面グラフィックの表示	グラフィック: 1920 X 1080	
3 リージョン L ラッパー (3-Region L wrapper)	リージョン 1 にライブ ビデオ映像またはビデオ リプレイを表示し、リージョン 2 に広告のプレイリストを表示し、リージョン 3 にスコアまたはニュースを含むティッカーを表示。 「Lwrapper」と呼ばれることもある。	ビデオ: 1624 × 914 広告: 296 × 914 ティッカー: 1920 × 166	
全画面デュアル ビデオ(Full Screen Dual Video)	各ビデオ リージョン(ビデオ 1 とビデオ 2)に全画面ビデオを表示。ビデオ リージョン 2 で Luma キーイングを使用することにより、ビデオ リージョン 2 を透過させてビデオ リージョン 1 のコンテンツの選択エリアの表示が可能。 SV-4K、CV-UHD、および CV-UHD2 デジタルメディアプレーヤーにおける UHD 解像度のビデオコンテンツの場合、Luma キーを適用することはできません。Luma キーイングは、プライマリ リージョンの UHD ビデオ上に重ねてセカンダリ リージョンの HD ビデオが Luma キーを使用する場合に、デュアル ビデオでのみサポートされています。	ビデオ 1: 1920x1080 ビデオ 2:1920x1080 1920 X 1080 ビデオ 2: 1920 X 1080	

画面テンプレートについて

テンプレート名	コンテンツ タイプ	寸法	リージョン レイアウト
クワッドリージョン テンプレート	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各画面に固定された 2x2 テンプレートであり、画面全体を 4 つの均等な部分に分けます。 ■ 調整可能なテンプレート/配置、z レイヤの順序付け、またはオーバーラップはありません。 ■ Luma キーはサポートされていません。 ■ 各リージョンでは、HD ビデオまたはプレイリストのみを再生できます。 ■ 一度に 1 つのクワドドラントの音声がサポートされます。ローカル制御 API 経由でのみアクティブなオーディオを選択します。 	ビデオ 1 (左上のリージョン): 1920x1080 ビデオ 2 (右上のリージョン): 1920x1080 ビデオ 3 (左下のリージョン): 1920x1080 ビデオ 4 (右下のリージョン): 1920x1080	

注: 以前のリリースからアップグレードした場合、旧来のテンプレート (ウェルカム (Welcome)、終了 (Exit)、緊急 (Emergency)、外部緊急 (Outside Emergency)、3 リージョン (3-Region)、3 リージョン ダブル (3-Region Double) など) がまだシステム内に表示される可能性があります。

注: リリース 6.3 では、CV-HD2 DMP での UHD ビデオサポートと、CV-UHD2 DMP でのデュアル UHD ビデオサポートが導入されています。

注: リリース 6.4 SP1 では、CV-UHD および CV-UHD2 DMP でのみ使用可能なクワッドリージョン ビデオ テンプレート デザインが導入されています。

全画面デフォルト テンプレート

Cisco Vision Director ソフトウェアに付属する全画面テンプレートは、全画面ビデオ (または混合メディア (Mixed Media) または全画面グラフィックを表示するために使用されます。図 2 (107 ページ) は、全画面テンプレートのビデオ (または混合メディア) の例を示しています。図 3 (108 ページ) は、全画面テンプレートのグラフィックの例を示しています。どちらも固定画面のテンプレートで、カスタマイズできません。表 2 (108 ページ) および表 3 (108 ページ) にテンプレートの寸法を示します。

図 2 全画面ビデオ (または混合メディア) テンプレートの例



画面テンプレートについて

表 2 全画面ビデオまたは混合メディア テンプレートの大きさ

コンテンツ タイプ	寸法
リージョン 1: ビデオまたは混合メディア (Video or Mixed Media) 全画面ビデオ (Full Screen Video)	リージョン 1: 1920 x 1080 1920 X 1080

図 3 全画面グラフィック テンプレートの例



表 3 全画面グラフィック テンプレートの大きさ

コンテンツ タイプ	寸法
リージョン 1: グラフィック (Non Video) 全画面グラフィック (Full Screen Graphic)	リージョン 1: 1920 x 1080 1920 X 1080

3 リージョン L ラッパー デフォルト テンプレート

図 4(109 ページ)に、Cisco Vision Director に標準で付属する 3 リージョン L ラッパーテンプレートのコンテンツの例を示します。これは固定画面のテンプレートで、カスタマイズできません。表 4(109 ページ)にテンプレートの寸法を示します。リージョンをクリックすると、右側のパネルの [Properties] が寸法とレイヤ名で更新されるのを確認できます。

画面テンプレートについて

図 4 3 リージョン L ラッパー テンプレート

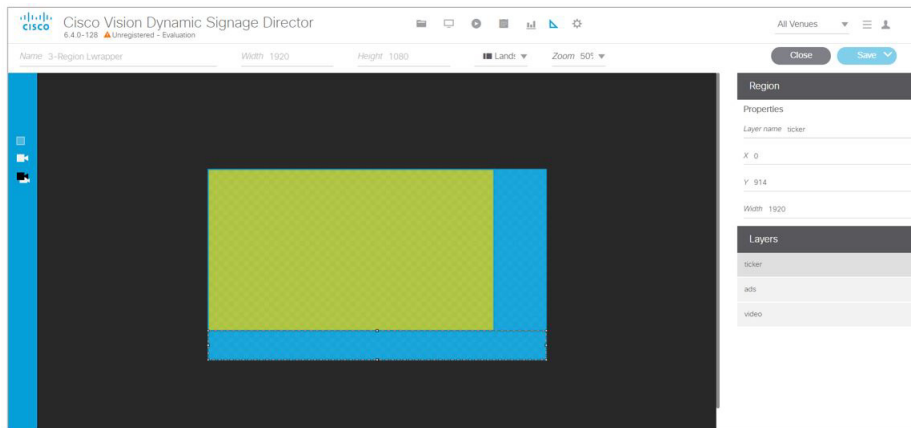


表 4 標準的な Lwrap テンプレートの寸法

3 リージョン Lwrap	x	y	width	height
ティックカー	0	914	1920	165
広告	1628	0	296	914
ビデオ(フィード)	0	0	1624	914

図 5(109 ページ)に、Cisco Vision Director に標準で付属する 3 リージョン L ラッパーテンプレートのコンテンツの例を示します。これは固定画面のテンプレートで、カスタマイズできません。表 5(110 ページ)にテンプレートの寸法を示します。

図 5 3 リージョン L ラッパー テンプレート



表 5 3 リージョン L ラッパー リージョンテンプレートの寸法

コンテンツ タイプ	寸法
リージョン 1: ビデオまたは混合メディア (Video or Mixed Media)	リージョン 1: 1624 x 914
リージョン 2: 非ビデオ (Non Video)	リージョン 2: 296 x 914
リージョン 3: 非ビデオ (Non Video)	リージョン 3: 1920 x 166

表 6(110 ページ)に、3 リージョン L ラッパー画面テンプレートの特徴を示します。

表 6 3 リージョン L ラッパー画面テンプレートの特徴

リージョン	説明
リージョン 1	<ul style="list-style-type: none"> ■ 16:9 のアスペクト比。 ■ ライブ ビデオ ブロードキャストまたはビデオ リプレイのサポート。ビデオ形式の詳細については、Cisco Vision 認定パートナーが利用できる、ご使用のリリースの『Cisco Vision Network, Server, and Video Headend Requirements Guide』を参照してください。
リージョン 2	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広告プレイリストのサポート。 ■ リージョン 2 は小さいため、このリージョンには多数の小さなテキストを含む広告ではなく、グラフィックの多い広告を使用する。
リージョン 3	<ul style="list-style-type: none"> ■ グラフィックやティッカー形式での情報を表示するために設計されている。 ■ 開催場所で承認された標準互換の RSS フィードからティッカーのコンテンツを取得することが可能。 ■ ティッカーリージョンは、開催場所のロゴを使用してカスタマイズすることが可能(余白スペースでティッカーのコンテンツが再生される)。

全画面デュアル ビデオ デフォルト テンプレート

全画面デュアル ビデオ デフォルト テンプレートは、DMP で利用できます。デュアル ビデオ リージョンでは、セカンダリ (ローカルまたはマルチキャスト) ビデオ リージョンと、プライマリ ビデオ リージョンの 2 つのビデオ リージョンを重ねることができます。

デュアル ビデオ テンプレートは、次の機能を提供します。

- 2 つのビデオ フィードの同時表示
- ビデオ ベースの広告の掲載
- イベントにおける独占的機会 (MoE: Moment of Exclusivity) の促進
- セカンダリ ビデオ リージョンへの輝度 (Luma) キーイングの適用

SV-4K、CV-UHD、および CV-UHD2 デジタルメディアプレーヤーにおける UHD 解像度のビデオコンテンツの場合、Luma キーを適用しないでください。Luma キーイングは、プライマリリージョンの UHD ビデオ上に重ねてセカンダリリージョンの HD ビデオが Luma キーを使用する場合に、デュアルビデオでのみサポートされています。

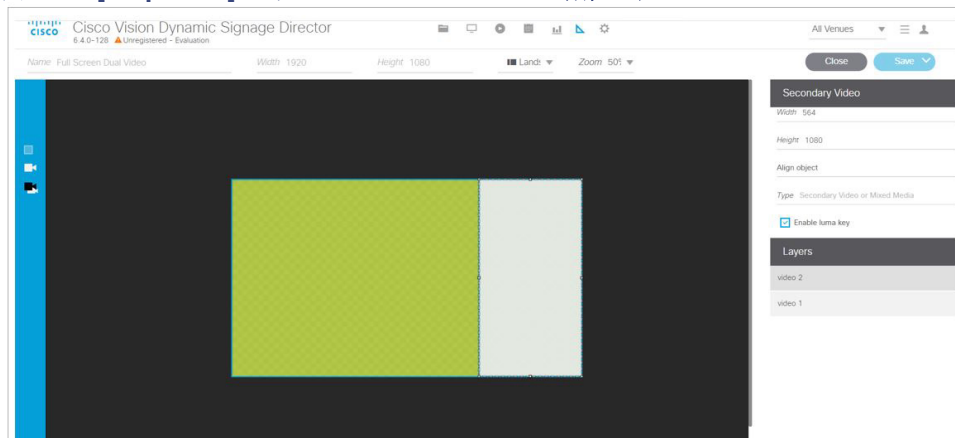
表 7(111 ページ)に、デュアル ビデオ リージョンの仕様を示します。

表 7 全画面デュアル ビデオ テンプレートの仕様

リージョン	仕様
ビデオ 1	<ul style="list-style-type: none"> ■ 赤外線 (IR) リモコンまたはローカル制御を使用して制御可能。 ■ ビデオ リージョン 1 は一番下のレイヤまたはプライマリ レイヤとして表示される。 ■ オーディオのサポート。 ■ ソース:ローカルまたはマルチキャスト ビデオ。
ビデオ 2	<ul style="list-style-type: none"> ■ IR またはローカル制御からの制御は不可。 ■ ビデオ リージョン 2 はビデオ リージョン 1 の上に完全に重なる。 ■ 輝度 (Luma) キーイングは、2 番目のビデオ リージョンに適用される (このテンプレートでは無効化や変更はできない)。 ■ オーディオの再生は不可。 ■ ソース:ローカルまたはマルチキャスト ビデオ

注:Luma キーのデフォルトは #ff2000 に設定されています。Luma キーイングを有効にするには、[Properties] パネルを下にスクロールし、チェックボックスをオンにします(図 6(111 ページ))。

図 6 [Properties] パネルで Luma キーイングを有効にする



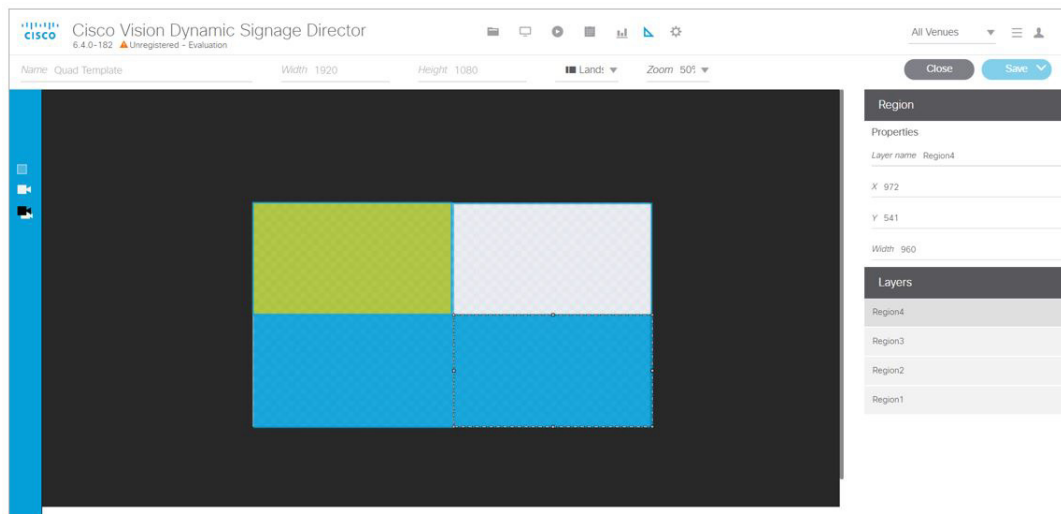
グローバル luma キー値を変更するには、次の手順を実行します。

1. [Configuration] > [System Configuration] > [Global DMP Settings] > [Default - Audio/Video/Closed Caption] をクリックします。
2. [Configuration Properties] から [Luma key] を選択します。[Edit] (鉛筆アイコン) をクリックします。[Edit - Configuration Setting] ダイアログボックスが表示されます。デフォルトの Luma キー値の変更(122 ページ)を参照してください。

CV-UHD および CV-UHD2 DMP のクラウド ビデオ デフォルト テンプレート

リリース 6.4 SP1 では、4 リージョン ビデオ ストリーミング機能が導入されています。この機能は、CV-UHD および CV-UHD2 DMP でのみ使用できます。クラウドテンプレートと呼ばれる新しいデフォルトテンプレートが含まれています。このテンプレートは編集できませんが、コピーして使用して、独自のデザインを作成できます。デフォルトテンプレートは、画面を 4 つの等しい 16:9 ビデオクワドラント/リージョンに分割します。左上の領域はリージョン 1、右上の領域はリージョン 2、左下の領域はリージョン 3、右下の領域はリージョン 4 です。リージョンをクリックすると、レイヤ情報が強調表示されず(図 7(112 ページ))。

図 7 4 つのビデオリージョンのクラウドテンプレート



4 つのリージョンすべてで、音量とチャンネルの変更にローカル制御が使用されます。使用しているデバイス(タッチスクリーンやリモートなど)のサードパーティ アプリケーション開発者に連絡して、デバイスに互換性があるかどうかを確認してください。この機能は、スイートルームなど、よりプライベートな場所で最適に機能します。

サードパーティ製デバイスのインテグレータと協力して、サードパーティのタッチパネルにおけるチャンネル変更と音量調節の動作方法を決定します。

CV-UHD および CV-UHD2 DMP のクラウドビデオテンプレートの仕様

仕様は次のとおりです。

- クラウドテンプレートビデオは、各画面に固定された 2x2 テンプレートであり、画面全体を 4 つの均等な部分に分けません。つまり、調整可能なテンプレート/配置、z レイヤの順序付け、またはオーバーラップはありません。
- Luma キーはサポートされていません。
- ディスプレイをクラウドビデオモードにする場合を除き、スクリプトでの使用はサポートされていません。
- ローカル制御 API は、ビデオリージョンを制御してチャンネルを変更し、オーディオを別のリージョンに切り替えます。
- 一度に 1 つのクワドラントの音声がサポートされます。ローカル制御 API 経由でのみアクティブなオーディオを選択します。
- クラウドビデオモードでは、イメージ、ウィジェットテキストのオーバーレイ、または外部 URL はサポートされていません。

注: クラウドリージョンのデフォルトテンプレートは、Dolby Vision または HDR10 コンテンツをサポートしていません。

カスタム画面テンプレート

カスタム画面テンプレートでは、スポンサーと開催場所のニーズに合わせて画面のコンテンツ リージョンのサイズと配置を変更できます。図 8(113 ページ)に、一部のカスタム画面テンプレートの例を示します。

図 8 カスタム画面テンプレートの例



カスタム オーバーレイ画面テンプレート

オーバーレイ画面テンプレートは、DMP で非ビデオリージョン(グラフィック)をビデオ(または混合メディア)リージョンに重ねることができるカスタムテンプレートです。

ヒント: DMP では、デュアルビデオリージョンが利用できるカスタムテンプレートを作成したり、デフォルトの全画面デュアルビデオテンプレートを使用したりできます。全画面デュアルビデオデフォルトテンプレート(110 ページ)を参照してください。

オーバーレイ機能は、任意のリージョンに割り当てることができます。オーバーレイ機能を使用することで、次のものを表示できます。

- 全画面の非ビデオ(グラフィック)のコンテンツ リージョンが上に重なった、全画面ビデオ(または混合メディア)リージョン。
- 画面上の小さなリージョンに重なるブランド/グラフィック。
- ロゴの一部の色が透明で、他の色は透明でない透明ロゴなどの、目立ちにくいブランド/グラフィック。

注: デジタルメディアプレーヤーでオーバーレイ画面テンプレートを作成する際、プライマリビデオリージョンにビデオ以外のリージョンを重ねる場合は、イメージがキャンバスに合うように設計されていることを確認してください。イメージがキャンバスからはみ出していると、イメージの一部のみが表示されます。

オーバーレイ テンプレートを使用するときのグラフィックの推奨ファイル形式は、8 ビットまたは 24 ビットの PNG(透過ピクセルをサポート)です。PNG ファイルを作成するときに、全画面ビデオ リージョン用にピクセルを透過させる必要があります。JPG ファイルは透過性を維持しないため、推奨されません。

デュアルビデオ画面テンプレート: 拡張機能

リリース 6.3 の新機能では、新しいディスプレイ仕様 `dmp.layerOrderMode` を使用して、DMP ディスプレイのビデオ/HTML レイヤの順序を設定できます。

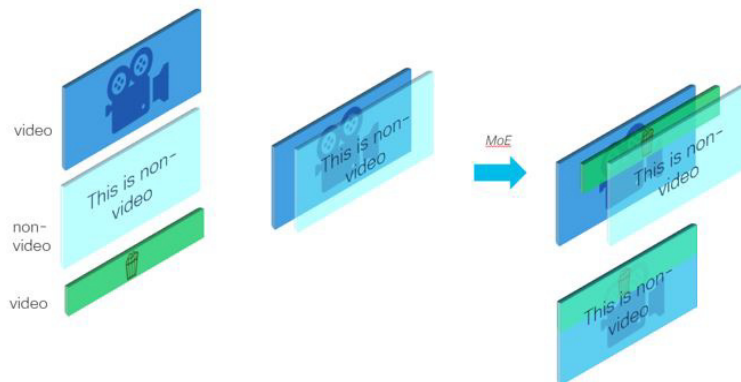
以前は、テンプレートのスタック順序に関係なく、ビデオレイヤは常に DMP ディスプレイのスタック順序の一番下にレンダリングされていました(図 9(114 ページ))。透明度とサイジングによって効果を得ることができますが、ビデオをオーバーレイすることはできません。

画面テンプレートについて

`dmp.layerOrderMode` には 3 つの設定があります。この新しい表示パラメータを使用すると、次のことが可能になります。

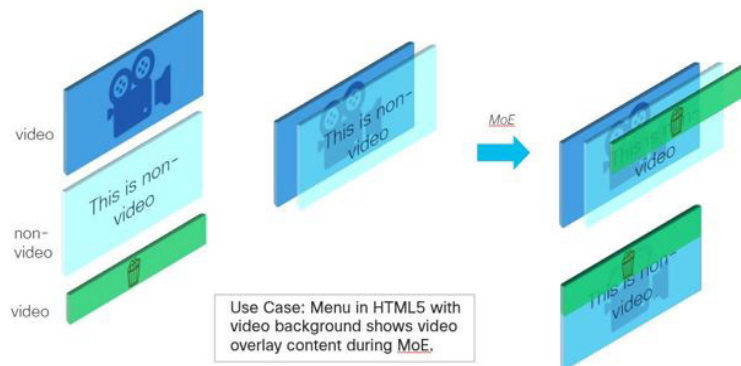
- **VideoOnBottom** (既存の動作と同じ、[図 9\(114 ページ\)](#))
- **GraphicsInMiddle** ([図 10\(114 ページ\)](#))
- **VideoOnTop** ([図 11\(114 ページ\)](#))

図 9 デフォルトのレイヤ順序:一番下に 1 つのビデオ



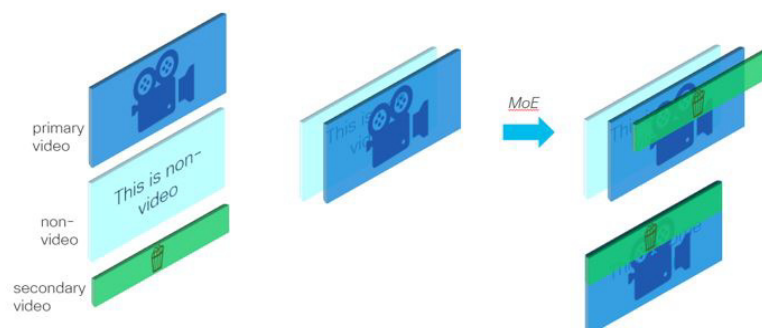
独占的機会にビデオ オーバーレイ コンテンツを表示するビデオ背景を含む HTML5 のメニューなどの使用例では、**GraphicsInMiddle** を使用します ([図 10\(114 ページ\)](#))。

図 10 **GraphicsInMiddle** 値の出力



リージョンレイヤの順序に関係なく、セカンダリリージョンを常にプライマリリージョンの上に配置する必要がある場合は、**VideoOnTop** を設定します。ビデオは常に非ビデオレイヤの上に表示されます ([図 11\(114 ページ\)](#))。

図 11 **VideoOnTop** 値の出力



画面テンプレートについて

図 12(115 ページ)に、シングルビデオ動作のグラフィック表示を示します。

図 12 シングルビデオコンテンツのレイヤリング動作

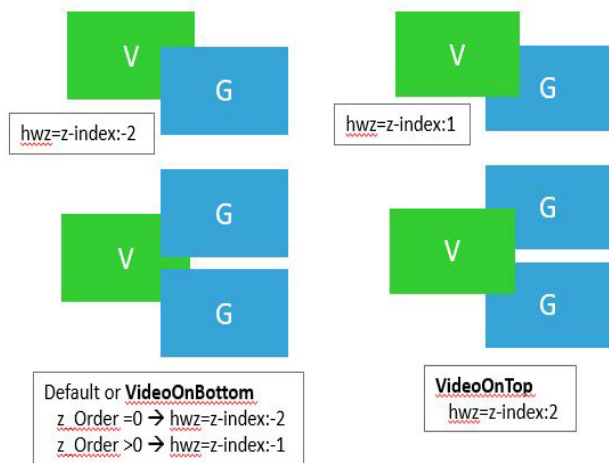
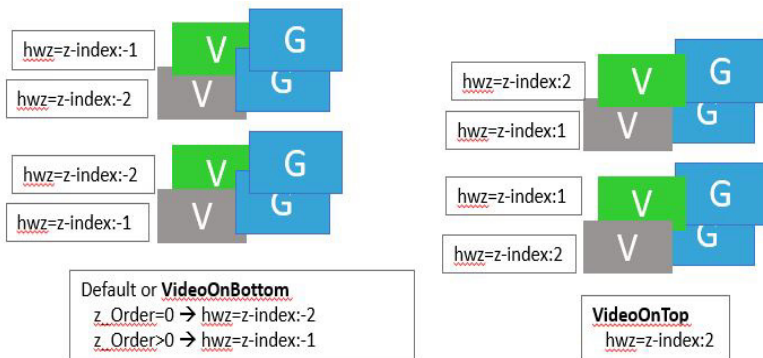


図 13(115 ページ)に、デュアルビデオ動作のグラフィック表示を示します。

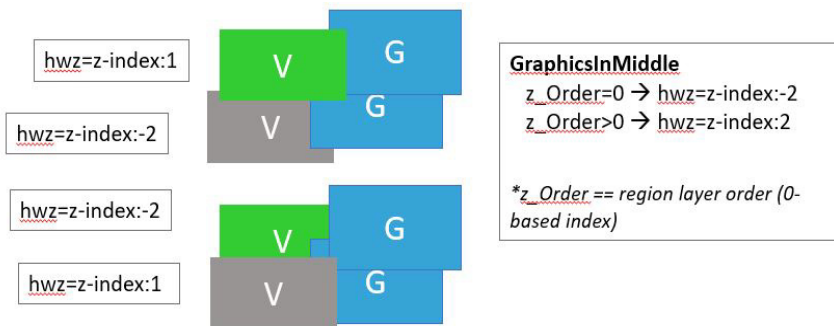
図 13 デュアルビデオ動作:VideoOnBottom/VideoOnTop



注: プライマリ/セカンダリレイジョンの下に HTML コンテンツが必要な場合に使用します。診断、StartWebApp、ガイド、TV バナー、および PIN が表示されない場合があります。

図 14(115 ページ)に、中間層のグラフィックを含むデュアルビデオのグラフィック表示を示します。

図 14 ビデオ間の中間層にグラフィックがあるデュアルビデオ



Video in between graphics is not supported.

コンテンツの階層化: サポートされていない内容

コンテンツ表示を設計する際に次のことを行うことは推奨されません。

- 2つの非ビデオコンテンツレイヤ間にビデオ(URLチャンネルを使用する場合など)。
- **VideoOnTop** を使用する場合にプライマリビデオの下にセカンダリビデオ。ランタイムは、プライマリビデオをセカンダリビデオの下に強制します。
- 異なるスクリプトステート間での2つのビデオリージョンのレイヤ順序の交換。これは予測できない結果になる可能性があります。
- テンプレートリージョンがレイヤ順序と一致しません。これは予測できない結果になる可能性があります。

重要: この新しい表示パラメータを使用する際の最新の注意事項は次のとおりです。

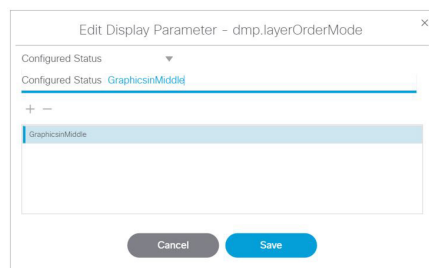
- テンプレートの階層化は、レイヤモードと一致している必要があります。たとえば、DMPに**VideoOnTop**を設定すると、ビデオレイヤは、**テンプレート**の下部にある場合でも**常に**最上位になります。したがって、この新しい機能を使用する場合は、表示テンプレートとコンテンツを慎重に設計してください。

次に、**GraphicsInMiddle**を使用したプロセスの例を示します。スクリプトで使用されるテンプレートのリージョンが適切に階層化されていることを確認します(ビデオ/非ビデオ/ビデオ)。

新しいビデオレイヤリングを許可する表示パラメータを設定するには、次の手順を実行します。

1. [Configuration] > [Devices] > [Display Specifications] > [Display Parameters] をクリックします。
2. 左側のパネルで DMP を選択します。
3. 右側の [Search] フィールドに **レイヤ** を入力します。dmp.layerOrderMode がリストに表示されます。
4. [Edit] (鉛筆アイコン) をクリックします。[Edit Display Parameter] ダイアログボックスが表示されます(図 15 (116 ページ))。
5. [Configured Status] フィールドに、**GraphicsInMiddle** と入力します。
6. [保存(Save)] をクリックします。

図 15 dmp.layerOrderMode 表示パラメータの設定



7. DMP を再起動して、新しい設定を画面に表示します。

画面テンプレートの設定方法

このセクションは、次のトピックで構成されています。

- [すべての画面テンプレートの一般的なガイドライン\(117 ページ\)](#)
- [カスタム画面テンプレートのガイドライン\(117 ページ\)](#)
- [テンプレート画面について\(119 ページ\)](#)

画面テンプレートの設定方法

- [カスタム画面テンプレートの作成 \(119 ページ\)](#)
- [画面テンプレートの命名 \(120 ページ\)](#)
- [テンプレート キャンバス上でのリージョン サイズと位置の設定 \(121 ページ\)](#)

すべての画面テンプレートの一般的なガイドライン

画面テンプレートを作成してコンテンツを追加するときは、次のことを考慮してください。

- テンプレートは名前順に並べられる。
- 再生証明(PoP: Proof of Play)のため、広告プレイリストと関連付けたリージョンを 1 つ以上設定することができる。
- リージョンは上から下にレイヤ順にリスト表示され、最上位レイヤがリストの一番上に表示される。
- レイヤには番号が付けられ、画面テンプレートに非ビデオ リージョンと、ビデオまたはリージョンが含まれている場合、ビデオまたは混合メディア リージョンは常にリストの下位に表示される。

注:他のリージョンの上に手動でビデオリージョンをドラッグできますが、ビデオリージョンの下にあるリージョンのレンダリングは予測できず、完全に見えなくなる場合があります。

- ボックス アイコンで非ビデオ リージョンを追加。
- ビデオアイコンでビデオまたは混合メディアリージョンを追加。
- 非ビデオ リージョンをビデオ リージョンに切り替える際、既にビデオ リージョンが存在する場合は警告が表示される。
- 既存のテンプレートにおいてリージョンを削除してから保存すると、確認のための強制ダイアログが表示される。さらに、イベント スクリプトで使用されているテンプレートが編集されると(リージョンの追加を含む)、確認のための強制ダイアログが表示される。また、追加または削除されたリージョンに適切なコンテンツが含まれ、期待通りに変更されていることを確認するため、変更されたテンプレートを使用するスクリプトを編集する必要がある。

注:Cisco StadiumVision Director は、SV-4K、CV-UHD、および CV-UHD2 デジタルメディアプレーヤーにおける HD/SD とビデオコンテンツ(ローカルとストリーミングビデオ)をサポートしています。UHD 解像度のグラフィックはサポートされていません。DMP-2K メディア プレーヤーは、HD/SD コンテンツのみをサポートしています。

カスタム画面テンプレートのガイドライン

カスタム画面テンプレートを作成するときは、次のガイドラインを考慮してください。

- リージョンには、非ビデオ コンテンツ(静的グラフィック)、ビデオ、または両方の組み合わせ(混合メディア リージョンにおいて)を含めることができます。
- 使用できるリージョンの数は、メディア プレーヤーによって異なる。
- 画面テンプレートごとに最大で 5 つのリージョンをサポート。5 つを超えると、パフォーマンスが低下する可能性があります。使用される非ビデオ コンテンツの種類に応じて結果が異なる場合があります。たとえば、ごく単純なウィジェットではパフォーマンスが低下することはありませんが、非常に複雑なウィジェットの場合はその可能性があります。

表 8(118 ページ)に、カスタム テンプレートを作成するときに用意することができるコンテンツ リージョンの数を示します。

表 8 カスタム テンプレートの作成時に許可されるコンテンツ リージョンの数

リージョンのタイプ	DMP
非ビデオ(グラフィック)	0 以上
ビデオ リージョン 1 または混合メディア	最大 1
ビデオ リージョン 2 または混合メディア	最大 1

- DMP 用に設計されたカスタムテンプレートには、最大で 2 つのビデオリージョンを含めることができます。

注: デジタルメディアプレーヤーは、デュアル UHD ビデオリージョンをサポートしていません。

- ビデオ リージョン 2 で Luma キーイングを使用することにより、ビデオ リージョン 2 を透過させてビデオ リージョン 1 のコンテンツの選択エリアを表示できる。
- テンプレートの相対的なレイヤの順序を変更することで、ビデオ リージョンの順序を変更することが可能。

- リージョンを重ねると、非ビデオコンテンツ(グラフィック、ウィジェットなど)が常にビデオコンテンツの上に表示されます。

重要: DMP で 2 つのビデオ/混合メディア リージョンを重ねる場合で、最初のビデオ/混合メディア リージョンにビデオと非ビデオ コンテンツの両方が含まれていると、最初のリージョン内の非ビデオ コンテンツが、常に 2 番目のリージョンのビデオの上に表示されます。レイヤに「top」または「bottom」という名前を付けて「Layer1Bottom」が「Layer2Top」の下になるようにします。

注: `dmp.layerOrderMode` を設定した場合は、それらの DMP のテンプレートを慎重に調整してください。そうしないと、ディスプレイに予期しない結果が表示されることがあります。

リージョン 1 に非ビデオ コンテンツを含める場合は、静的コンテンツのローカル ビデオを作成し、プレイリストでそれを使用して、プライマリ リージョンに残るようにすることが回避策となります。

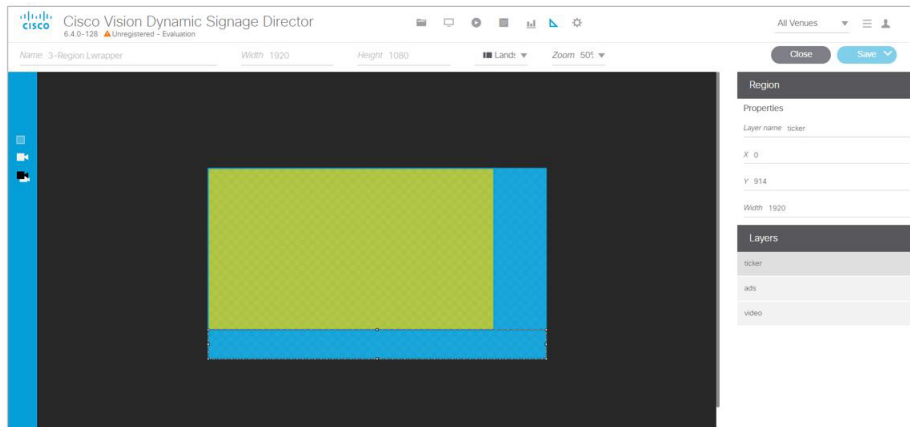
- パフォーマンスを最適化するため、ビデオとグラフィックのアスペクト比のサイズを、リージョンのアスペクト比に合わせる。現在、マルチ画面テンプレートの拡大は DMP ではサポートされていません。
- すべてのリージョンが 1920 X 1080 の大きさに収まる必要があります。オーバーレイを使用する場合は、1920 X 1080 の 2 つのリージョンを用意できます。

注: 多くの解像度へのネゴシエーションをサポートしています。DMPネゴシエートされた解像度が 1920 x 1080 未満の場合は、テンプレートによってその低い解像度にまでトリミングされます。

テンプレート画面について

図 16(119 ページ)に、5 つのデフォルトテンプレートの 1 つである 3 リージョン L ラッパーテンプレートを示します。

図 16 テンプレート画面のナビゲーション



左側のパネルに、非ビデオリージョン、プライマリビデオリージョン、およびセカンダリビデオリージョンのアイコンが表示されています。

コンテンツを横方向にするか、縦方向にするかを選択します。

ドロップダウンからズームのパーセンテージを選択します。

[Layer name] をクリックして名前を入力し、[X]、[Y]、[Width]、[Height]、[Align object]、[Type] を設定し、[Enable luma key box metadata] をクリックします(必要な場合)。

完了したら、ドロップダウンメニューから [Save As] をクリックします。

DMP に使用されるテンプレートは、DMP の表示仕様に設定されているレイヤ順序モードと一致している必要があります。

カスタム画面テンプレートの作成

ユーザー ロール: 管理者 (Administrator)/コンテンツ マネージャ (Content Manager)

Cisco Vision Director で新しいカスタム画面テンプレートを作成する方法は 2 つあります。

- 新しいテンプレートを追加し、すべてのプロパティとリージョンを定義する。
- 同じプロパティとリージョンを活用するために、デフォルトの標準テンプレート、または別の既存のテンプレートからコピーする。

デフォルトのテンプレート(テンプレート名の左側にロック アイコンで示されている)は、コピーはできますが、変更はできません。

新しいテンプレートの追加

デフォルトビューは、テンプレートのリストビューです。テンプレートを選択し、リストの上にあるアイコンを使用します。

新しいテンプレートを追加するには、次の手順を実行します。

1. [Designer] > [Templates] をクリックします。
2. [New Template](+) アイコンをクリックします。新しいテンプレートが表示されます。

画面テンプレートの設定方法

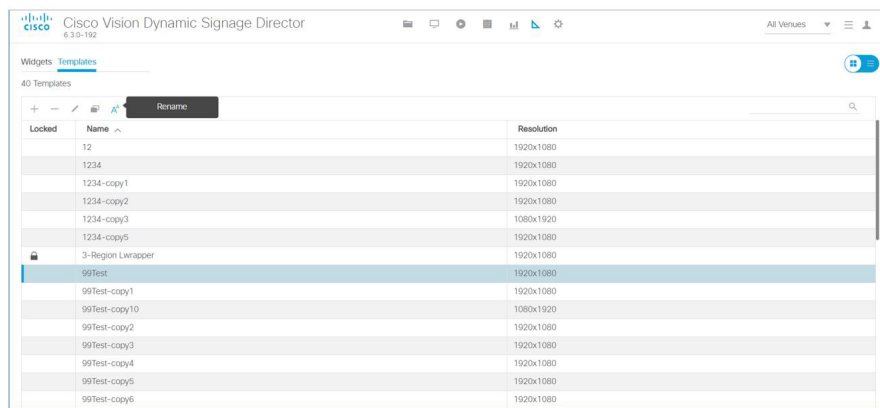
3. 新しい名前を入力します。命名規則の推奨事項については、[画面テンプレートの命名 \(120 ページ\)](#) を参照してください。
4. 1 つ以上のリージョンを追加します(最大 5 つ)。
5. リージョンのプロパティを指定します。
6. テンプレートを保存します。

既存のテンプレートからのコピー

新しいテンプレートを作成する別の方法は、すでにカスタマイズ済みの既存のテンプレートをコピーするか、またはデフォルトのシステム テンプレートの 1 つをコピーすることです。この方法を使用することで、時間を節約でき、コピーされたテンプレートからのプロパティがすべて含まれています。

既存のテンプレートをコピーするには、次の手順を実行します。

1. [Designer] > [Templates] に移動します。
2. テンプレートを選択し、[Copy] をクリックします。選択したテンプレートの「コピー」が表示されます。
3. テンプレート名を選択し、[Rename] アイコンをクリックします。[Rename] ダイアログボックスが表示されます。



4. 新しい名前を入力します。[OK] をクリックします。命名規則の推奨事項については、[画面テンプレートの命名 \(120 ページ\)](#) を参照してください。
5. [Edit] (鉛筆アイコン) をクリックします。
6. (必要に応じて) リージョンのプロパティとレイヤを変更します。
7. テンプレートを保存します。

注: 新しいテンプレートをコピーまたは作成するもう 1 つの方法は、既存のテンプレートを開き、[Edit] をクリックして変更を加え、[Save As] をクリックすることです。ダイアログボックスに新しい名前を入力します。

画面テンプレートの命名

画面テンプレートに名前を付ける場合は、識別しやすいように、名前の中に意味を持つ略語を使用します。次に例を示します。

- 全画面ビデオ用の画面テンプレートを示すには、名前に「FV」を使用します。
- L ラッパー用の画面テンプレートを示すには、「LW」を使用します。

さらに、その他の関連情報を含めることができます。たとえば、ビールの広告しか含まれていないプレイリストには「beer」、Y ブランドの製品しか含まれていないプレイリストには「BrandY」を含めることができます。

テンプレート キャンバス上でのリージョン サイズと位置の設定

ユーザー ロール: 管理者 (Administrator)/コンテンツ マネージャ (Content Manager)

テンプレート キャンバス上のリージョンのサイズと位置を変更する方法はいくつかあります。

リージョンのサイズ変更

重要:DMP では、テンプレートキャンバスの幅と高さは、コンテンツ解像度または縦横比に一致している必要があります。詳細については、[キャンバス解像度とテンプレート解像度 \(97 ページ\)](#)を参照してください。

リージョンのサイズを変更するには、次を実行します。

- リージョン ボックスのハンドルを選択し、ドラッグしながらリージョンの大きさを拡大または縮小する。
- より精密な結果を得るには、幅 (Width) と高さ (Height) のプロパティに実際のピクセル値を入力する。

リージョンの位置変更

ヒント:全画面テンプレートのリージョンを作成するときは、X と Y 値を 0, 0 にする必要があります。左上隅の位置 (0,0) がすべてのテンプレートの開始点です。

リージョンの位置を変更するには、次を実行します。

- リージョン (レイヤ) を選択し、キャンバス上でドラッグして位置を変更する (オフセット)。
- 特定の位置については、実際のピクセル オフセット値を入力する。
 - X: (水平オフセット) キャンバスの左側からコンテンツをインデントするピクセル数
 - Y: (垂直オフセット) キャンバスの上部からコンテンツをインデントするピクセル数
- キャンバスでリージョンのレイヤ順序を変更するには、[リージョン (Regions)] リスト ボックスに移動して、リージョンを上下にドラッグアンド ドロップして順序を変更する。

重要:マルチキャスト ビデオ レイヤは、常に最下層 (レイヤ 1) にする必要があります。すべてのビデオリージョンが最下部にあることを確認します。

デュアル ビデオ テンプレートの Luma キーイングの使用法

注:デュアルビデオの Luma キーイングは、CV-HD または CV-HD2 メディアプレーヤーではサポートされていません。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [Luma キーの動作のしくみについて \(121 ページ\)](#)
- [デフォルトの Luma キー値の変更 \(122 ページ\)](#)

Luma キーの動作のしくみについて

Luma キーイングは、コンテンツの明るさレベルをフィルタリングするために使用されます。キー値に基づいて、一定範囲のより明るいピクセルとより暗いピクセルが除去され、透過的になります。

注:Luma キーイングはビデオコンテンツにのみ適用されます。

Luma キーの例

Luma キーは、デュアルビデオオーブションを使用してライブイベントのマルチキャストストリーム上でビデオコンテンツをオーバーレイする場合に便利です。

図 17(122 ページ)に、試合中に決定的な瞬間を強調して表示するために「GOAL」をオーバーレイする例を示します。

図 17 GOAL をオーバーレイした試合映像

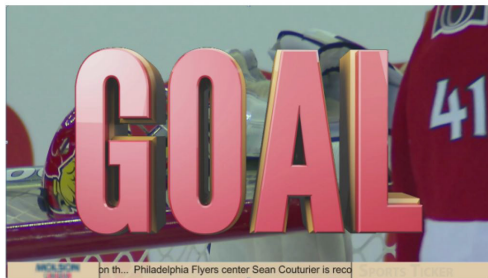


図 18(122 ページ)に、試合中のゴール シーンを強調するため、試合のストリーミング上にホッケーのパックの動きを重ねる例を示します。

図 18 ゴール後に試合映像上を飛んでいくホッケー パック



デフォルトの Luma キー値の変更

ユーザー ロール: 管理者 (Administrator)

Luma キープロパティは、システム内のすべてのデジタルメディアプレーヤーに対してグローバルに設定されます。これは、テンプレートを編集している際に、[Designer] > [Templates] 画面からデュアルビデオテンプレートごとに有効化または無効化できます。

ヒント: コンテンツのニーズに合わせた Luma キー値の効果的な使用方法と設定方法については、Cisco Vision カスタマーエクスペリエンス (CX) Digital Media Services チームにお問い合わせください。

Luma キー プロパティは 16 桁の 16 進数値で、デフォルトでは #ff2000 に設定されています。表 9(122 ページ)に、16 進キーの形式と、ビットの解釈の仕方を示します。

表 9 Luma キーの形式

8 ビット マスク	8 ビットの高範囲	8 ビットの低範囲
0xff	0x20	0x00

デュアル ビデオ テンプレートの Luma キーイングの使用法

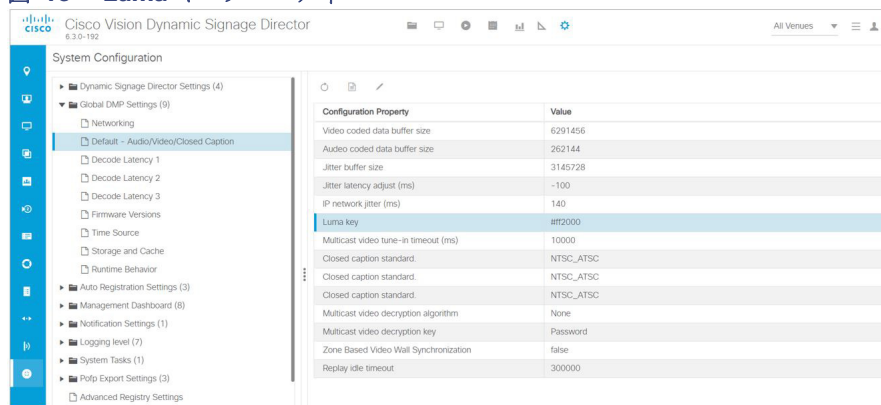
デフォルト値では、輝度が **0xff** の部分はマスクされ(変更されない)、輝度値が **0x00** ~ **0x20** の範囲(より暗いピクセル)にある部分はコンテンツからフィルタリングされ、透過的になります。

すべての **DMP** に対して **Luma** キープロパティをグローバルに無効化するには、値を設定しないでください(図 19(123 ページ))。**Luma** キープロパティを空白にすると、オプションがテンプレートで設定されていても、マスクングは適用されません。

デフォルトの **Luma** キー値を変更するには、次の手順を実行します。

1. **[Configuration] > [System Configuration] > [Global DMP Settings] > [Default - Audio/Video/Closed Caption]** をクリックします。
2. **[Configuration Property]** ボックスで、**Luma** キープロパティを選択します(図 19(123 ページ))。
3. **[Edit]** (鉛筆アイコン)をクリックします。**[Edit Configuration Settings]** ダイアログボックスが表示されます。

図 19 Luma キープロパティ



4. 値のボックスで、**#** 記号でから始まる **6** 桁の **16** 進数値を入力します。
5. **[保存(Save)]** をクリックします。

ヒント:新しい値を適用するためにメディア プレーヤーをリセットする必要はありません。スクリプトを開始するたびに、デジタル メディア プレーヤーはグローバル設定を取得します。

